

教科	国語	学年	2年	標準授業時間数	105時間(週3時間)
----	----	----	----	---------	-------------

目 標	教科目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「生きる力」と密接に結びついた「ことば」を通して、豊かな想像力、思考力を養い、豊かな心を育てる。 ・いろいろな文章や材料を基に自分の考えを深め、論理的に話したり聞いたり書いたりする力を身につけ、ことばを通して生活を豊かにし、自己を向上させようとする態度を育てる。
	具体目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に積極的に取り組み、国語に対する興味関心を深めることができる。 ・自分の見方や考え方を深めて、説得力のある表現の仕方に注意して話したり聞いたり書いたりできる。 ・いろいろな文章を読み、書き手の考えを読み取ることを通して自分の考えを持ち、深めることができる。 ・国語に関する基礎的な事項や知識を身につけることができる。

評 価 点	観 点	国語への関心 ・意欲・態度	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に興味を持ち意欲的に学習活動に取り組もうとする。 ・提出物をきちんと完成し、期限を守って提出できる。
		話す・聞く 能力	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手のものの見方や考え方を捉えて、自分のものの考え方を広めたり深めたりしている。 ・話の内容に応じて適切な語句を選び話したり聞き取ったりしている。 ・自らの思いを適切な声の大きさ、速さ、態度で相手に伝えることができる。
		書く能力	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する自分の立場、伝えたい事柄がはっきり書けている。 ・文章の内容が相手に効果的に伝わるよう工夫している。
		読む能力	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開、説明や描写などに注意して読んでいる。 ・文章の中での語句の効果的な使い方について分かり、自分の言葉の使い方に役立てている。 ・文章の論理展開の仕方を的確に捉え、内容を理解している。 ・文章を読んで、人間、社会、自然などを考え、自分の意見が持てる。
		言語について 知識・理解 ・技能	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きができる。 ・ことばのきまりがわかる。 ・文章の中での語句の意味がわかる。 ・古文についての基本的な事項がわかる。 ・字形・字体などを工夫し、読みやすい文字を正しく整えて速く書くことができる。
	材 料	各種提出物の内容・ノート内容・作文や作品の内容・朗読・スピーチ・定期テスト・小テスト・授業観察		
	方 法	評価材料を観点別に基準に従って評価し、それぞれの結果を総合的に判断する。		

学 習 方 法	使用教材	教科書(光村図書)・書写教科書(東京書籍)・国語便覧(浜島書店) よくわかる国語の学習(明治図書)・単元別漢字(秀学社) (平成18年度使用副教材)	
	学習形態	主に教室で行う。一斉学習・班別学習。	
	学 習 の 進 め 方	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の授業に集中して取り組む。 ・提出物の期限は必ず守る。 ・人の発表や発言はしっかりと聞き、自分の考えは挙手してはっきりと述べる。 ・ノートは板書を確実に記録するようにし、さらに書き方を工夫し、使いやすい自分のノートを作っていくようにする。 ・授業で配られたプリント類はノートに貼って整理する。 ・「朝の読書」に積極的に取り組むようにする。
	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書をくり返し音読したり、黙読したりして確実に読めるようにする。 ・わからない漢字や語句があれば辞書を利用して調べるようにする。 ・漢字練習帳を利用して毎日漢字練習をし、週1回提出する。 ・「基礎の学習」を利用して復習をする。 ・国語便覧を利用し、国語についての幅広い知識を身につけるようにする。 ・読書する時間や新聞を読む時間を持つようにする。 	

学習内容

月	単元名・項目	時数	学習のポイント
4	心を開く 春に 雨の日と青い空 言語 1 漢字 1 「聞く生活」を考えよう	3 5 1 1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・作者のものの見方や感じ方をとらえる。 ・好きなの言葉や表現を味わい声に出して読む。 ・人物の心の通い合いをとらえる。 ・情景描写に着目し人物の心情を読みとる。 ・対義語・類義語・多義語について理解する。 ・同訓を持つ漢字の意味用法の違いを理解する。 ・目的や状況に応じて情報を選び、大事な点を落とさず聞く。
5	真実を探る 文化を伝えるチンパンジー 文法の広場 1	6 2	<ul style="list-style-type: none"> ・事実と考察を読み分け、その関係に注意しながら読む。 ・語句・表現の効果的な使い方や文章の展開のしかたをとらえる。 ・自立語と付属語の意味・用法の違い・活用の有無について理解する。
6	漢字 2 人物紹介パンフレットを作ろう	2	<ul style="list-style-type: none"> ・同音の漢字の意味・用法の違いを理解する。 ・目的に応じて必要な情報を集め整理する。 ・伝えたいことが効果的に伝わるように紙面を工夫して書く。
7	短歌を味わう ゼブラ 読書案内・読書活動 書写	3 3 1 5	<ul style="list-style-type: none"> ・短歌について知り、表現の美しさを味わう。 ・作品を読み、読書の世界を広げる。 ・友人にすすめたい本の紹介カードを書く。 ・用具を整え、筆使いに注意し、楷書、行書の違いを理解する。
9	人間のきずな 盆土産 字のないはがき 言語 2 漢字 3 提案のしかたを工夫しよう	4 3 1 1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・人物それぞれの人柄や思いを、読み味わう。 ・「私」の語る内容から父への思いを読み取る。 ・それぞれの場面に描かれた人物の人柄や心情をとらえる。 ・共通語と方言の果たす役割を理解する。 ・複数の音・訓の読みを持つ字を理解する。 ・伝える目的に応じて、情報を検索したり選択したりする。
10	古典に親しむ 枕草子 扇の的―「平家物語」から 仁和寺にある法師 ―「徒然草」から 漢詩の風景	4 4 3 3	<ul style="list-style-type: none"> ・声に出して読み、言葉の響きや調子を楽しむ。 ・文語文の表現に慣れ、その特徴をつかんで読み味わう。 ・場面の状況を読み取り、その場におかれた人物の心情を読み取る。 ・漢詩にふれ、情景を想像し、昔の人の心情をとらえる。
11	漢字 4 事実と意見 モアイは語る―地球の未来 根拠を明らかにして書こう 文法の広場 2	2 4 4 3	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩特有の調子を生かして読み味わう。 ・漢字を分解して考え、漢字の成り立ちや部首を理解する。 ・文章中に述べられる事実や根拠を確かめながら、筆者の意見を読み取る。 ・段落に着目し、文章の構成をとらえる。 ・自分の立場を明確にし、意見を持ち、伝えるための根拠を示す。 ・活用のある自立語とない自立語の働きを理解する。
12	漢字 5 五重の塔はなぜ倒れないか 読書案内・読書活動 書写	1 1 1 5	<ul style="list-style-type: none"> ・熟語の成り立ちと用法を理解する。 ・文章を読み、未知の世界を味わう。 ・意欲的読書活動を喚起するため、読書案内の紹介文や検索の方法を知る。 ・行書の筆使いを理解し、流れるような事態を味わう。
1	生きる姿 走れメロス 視点を変えて書こう	6 4	<ul style="list-style-type: none"> ・人物の考え方や生き方について自分の考えを持ち、登場人物の人物像の変化を読み味わう。 ・視点を探し整理して、定めた視点から文体を工夫して書く。
2	文法の広場 3 漢字 6	3 1	<ul style="list-style-type: none"> ・用言の活用について理解する。 ・送りがなの付け方の原則を理解する。
3	広がる言葉 小さな「物語」を探る 補助犬とともに 言葉の力	4 1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場を尊重しながら必要な情報を聞く。 ・情報を整理し構成を工夫して文章にまとめる。 ・取材文を読み、補助犬について知る。 ・美しい言葉正しい言葉について考えを深める。